

介護予防・日常生活支援総合事業等の充実のための
の厚生労働省職員派遣支援を受けて

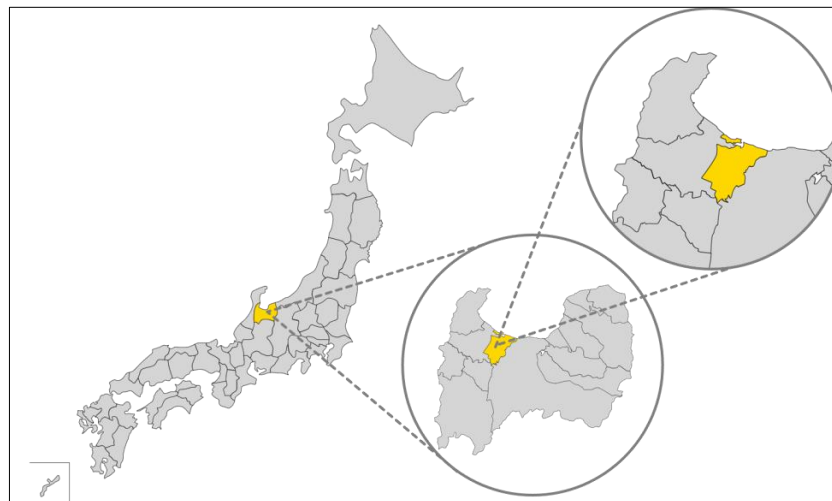
富山県射水市

地域福祉課
地域包括支援センター

射水市の基本情報

(令和2年9月末現在)

• 人口	92,401人
• 高齢者人口	27,961人
前期高齢者	14,030人
後期高齢者	13,931人
• 高齢化率	30.3%
• 要介護認定者数	4,995人
• 要介護認定率	17.9%
• 事業対象者	197人
• 第7期保険料	6,163円
• 面積	109.44km ²
• 日常生活圏域	7圏域
• 地域包括支援センター	5か所



平成17年11月、1市3町1村が合併し射水市は誕生しました。

富山県のほぼ中央に位置しており、半径約7kmのまとまりのある地域で、富山市、高岡市に隣接しています。

コンパクトな市域に、港湾、工業地、商業地、高等教育機関などが集積し、「海、川、野、そして里山」という豊かな自然を有しています。

これまでの取組

【総合事業】

平成29年 4月 開始

平成30年 1月 通所型サービスC（短期集中予防サービス）開始

●現状

通所型サービスC 令和3年2月末現在 利用者1名

自立支援の観点からも、短期間で集中してサービスを受け、元の生活に戻れるよう支援することは重要なことであるが、平成30年1月からのサービス開始以来、通所型サービスCの利用が進まない。

これまでの取組

【地域支え合いネットワーク事業】

平成28年10月 モデル事業実施

平成29年 4月 開始

●現状

令和3年3月1日現在 25/27地域振興会で実施

地域包括ケアシステム、共生社会の構築について、一般介護予防事業の枠組みで市内自治組織を単位として、地域での支え合い組織の整備を進めている。事業開始から丸4年が経過するが、地域で運営する集いの場は、どの地域も定着しつつあるが、包括的な支援体制の構築には至っていない。

これまでの取組

【自立支援に資する地域ケア会議】

平成29年12月 プレ会議実施

平成30年 4月 開始

●現状

事例検討数 事業開始から令和2年度末現在 37事例

包括的支援事業（社会保障充実分）の地域ケア会議推進事業として、高齢者の重度化防止・自立支援に資するケアプランについて、多職種参加による会議の開催等取組を進めている。

また、昨年度射水市ケアマネジメントガイドラインを作成し市内ケアマネジャーに研修会で周知、配布した。

事業に参加した理由

【自立支援に資する地域ケア会議】

●課題

市として介護支援専門員資質向上研修会でのケアプラン研修や傍聴可能なケア会議は開催しているものの、ケアマネジャー個々への定期的なケアプラン点検までには至っておらず、個々及び市全体のケアマネジメントのスキルの確認ができていない。

●取り組みたいこと

ケアマネジャーが、画一的な又はサービス有りきのケアプランではなく、高齢者ひとりひとりの健康状態、生活環境、家族状況を考慮した自立支援に資するケアマネジメントが実施できるよう、基礎研修に加え、個々のケアプランを持参しての自己点検や振り返りができるケアプラン研修会等を実施する。

1回目の支援

令和2年11月26日（木） 13：30
～17：00

（リモート開催）

●地域ケア会議

「いみずGENKIにすっぞ会議」の
開催

●会議を傍聴しての助言・意見交換会

タイム スケジュール	内 容
13：30～ 15：30 (120分)	いみずGENKIにすっぞ会議 <ul style="list-style-type: none">・概要説明 事業対象者、要支援及び要介護1・2の認定者の介護予防ケアマネジメントを振り返り、生活行為の課題の解決に向けた自立支援の考え方を強化することで高齢者のQOLの向上、介護支援専門員の資質向上及び多職種連携推進を目指す・参加者数 15名程度（地域包括支援センター、介護支援専門員） ※傍聴20名程度・助言者職種 薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 歯科衛生士、栄養士・事例数 3事例（1事例35分間）
15：40～ 17：00 (80分)	地域ケア会議を充実させていくための意見交換 <ul style="list-style-type: none">・参加者 包括主任ケアマネ、市担当職員・テーマ 検討事例数を増やすための改善点 地域課題の提案方法

1 回目の支援

●助言・意見交換の主なテーマ

- 1 重度化防止・自立支援に資するケアプラン策定について、ケアマネの資質向上を目的に会議を開催しており、会議運用の改善点や実施のポイント
- 2 ケアプラン点検のシステム構築について
- 3 地域ケア会議等からの地域課題の抽出について

●支援後の振り返り

- ・ 課題の整理及び改善すべき点の整理ができた。
- ・ 地域ケア会議から抽出された地域課題に基づいて、庁内連携を進めて行く手法等について理解できた。

2回目の支援

令和3年1月18日（月）

10:00～15:30

（リモート開催）

●ケアプラン点検

●地域ケア会議（模擬会議）開催

地域包括支援センター主任ケアマネジャーの事例で実践

●助言・意見交換会

タイムスケジュール	内容
10:00～12:00 1 (120分)	<p>「ケアプラン研修」</p> <p>①市のケアプラン点検等に関するこれまでの取組み及び課題の説明（市担当職員）（10分）</p> <p>②市内の実際のケアプランに関する点検（2、3事例）（60分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当ケアマネからの事例の概要説明 ・アセスメント及びプラン内容に対する助言（田中室長補佐） ・質疑、意見交換 <p>③自立支援に資するケアマネジメントに関する講義（田中室長補佐）（50分）</p> <p>ケアマネジメント力、ケアマネジメントの質向上のためにどんなことに取り組むべきか（生駒市で実践もふまえて）等</p>
13:30～15:00 1 (90分)	<p>「地域ケア会議（模擬会議）」</p> <p>①市の地域ケア会議の取組み状況及び課題等の説明（市担当職員）（10分）</p> <p>②模擬地域ケア会議の実施（80分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬会議 <p>生駒市で実践しておられた方法で、射水市の事例（2、3事例）を用い会議を実施</p> <p>ファシリテーター（司会）：田中室長補佐 参加者、助言者：市職員、地域包括支援センター職員等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質疑、意見交換

2回目の支援

- 助言・意見交換の主なテーマ

- 1 ケアプランの様式の見直しについて
- 2 医療情報の共有方法について
- 3 市民への自立支援の考え方の啓発方法について
- 4 地域ケア会議の効果的な進め方について
- 5 通所型サービスCの普及について

- 支援後の振り返り

- ・ 事業の振り返りの好機となり、会議資料の見直し等具体的課題が明確になった。

支援後の取組

市担当者と地域包括支援センター主任ケアマネジャーで検討

市担当で明らかになった課題を整理・見える化した上で、地域包括支援センター主任ケアマネジャーと共有を図るため検討会議を開催し、今後以下の内容について協働して進めていく。

- ケアマネジメントの向上について
 - ・ケアマネジャー向け研修会の開催
 - ・ケアプランの様式の見直し
 - ・アセスメント補助ツールの作成
 - ・会議で蓄積された医療情報をまとめたマニュアルの作成

- 地域ケア会議について
 - ・テーマを絞った事例の選定
 - ・テーマに合わせた助言者の選定
 - ・事例概要シートの見直し

- 自立支援の考え方の普及について
 - ・市民向け研修会の開催
 - ・職員（市・地域包括支援センター等）向け研修会の開催